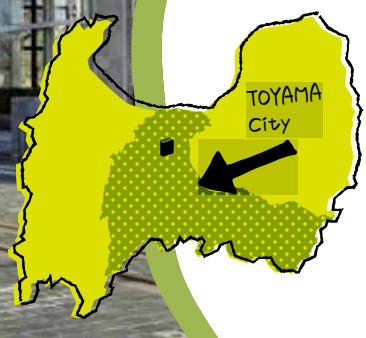


富山市

「SDGs未来都市」認定の富山市でSDGsや、まちづくりを学ぼう



SDGs 未来都市 TOYAMA

富山市は2018年に全国初の「SDGs未来都市」の1つとして認定されました。その考え方の土台となるコンパクトなまちづくりや充実したSDGsプログラムについて、ガイドブックやワークシートを活用して深く学べます。

1 コンパクトなまちづくり



事前学習で富山市のコンパクトなまちづくりについて調べ、現地の見学などを通して超高齢・人口減少社会を見据え、過度に車に頼らない公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを学ぶことができる。オンライン学習対応可。

●問合せ/富山市商工労働部観光政策課 076-443-2072

2 富山市エコタウン交流推進センター



受入人数 50名(応相談)

「エコタウン産業団地」では、ある産業から出るすべての廃棄物をあたりに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物ゼロにすることを旨とする「ゼロエミッション構想」を軸に、地域の振興を図りながら環境と調和したまちづくりを推進している。交流推進センターは、市民、事業者、行政が一体となって目指す「循環型のまちづくり」を推進し、環境・ゴミ問題に関する学習活動の拠点施設。

- 住所/富山市岩瀬天地町1-7
- 見学時間/①10:00~11:30、②13:30~15:00(毎週火曜~金曜)
- 学習/90分程度
- 料金/企業パンフレット 高校生以上1人1社につき50円
- アクセス/北陸自動車道 富山ICより車で30分、富山港線「岩瀬浜」より徒歩10分
- 問合せ/076-438-2600

3 総曲輪レガートスクエア



地域が一体となり、健康・福祉の促進、子育て・教育に取り組む「総曲輪レガートスクエア」で、健康・福祉・調理の体験学習を通じヘルシー&交流シティの形成を学べる。食事・班別学習の拠点としても利用可。

受入人数 1~30名(応相談)

- 住所/富山市総曲輪4-4-8
- アクセス/北陸自動車道 富山ICより車で15分、市内電車環状線「国際会議場前」「大手モーター」より徒歩2分
- 学習/見学含め1~2時間
- 料金/お問合せください。
- 問合せ/総曲輪レガートスクエア協議会事務局 まちスポとやま 076-461-3332

4 株式会社タニハタ



●住所/富山市上赤江町1丁目7-3

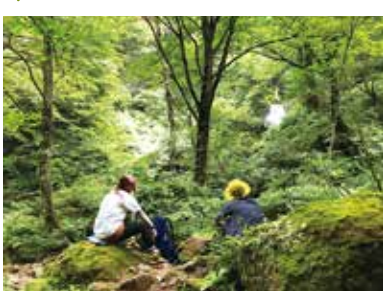
- 受入時間/9:00~17:30(平日 時期によって受入できない場合有)
- 学習/90分(会社説明30分/工場見学30分/製作体験30分)

タニハタではより良い組子製品を製作することのみでなく、環境保全に配慮したモノづくりを心がけている。組子を製作するうえで必要不可欠な「木材」や「電気」といった限りある資源を保全する取り組みを学べる。

受入人数 10~20名(応相談)

- 料金/1,000円
- アクセス/北陸自動車道 富山ICより車で15分、富山港線「下奥井」より徒歩15分
- 問合せ/076-441-2820

5 森林基地で森林セラピー



森林のもつ様々な効果を測定し、エビデンスのある森として認定されている森林セラピー基地。立山山麓森林セラピー基地では、森林浴をはじめ様々な森林プログラムを体験可能。森での散策や休息を通して、森の役割について学ぶことができる。冬季はスノーシュー体験も。

受入人数 1~100人程度 (それ以上の場合も応相談)

- 出発地/立山山麓スキー場 富山市原55
- 受入時期/5~11月(12~3月の積雪期はスノーシュー)
- 学習/3~5時間、プログラム内容については応相談
- 料金/1~20人=20,000円、21人以上は1人1,000円程度
- アクセス/北陸自動車道 立山ICより車で25分
- 問合せ/株式会社エコの森 076-444-0576

6 「水の王国」体験プログラム



ひと冬かけて降り積もった雪の壁は、迫力ある景観とともに水の王国と呼ばれる富山の大地を潤すみなもと。標高0mの街中から3,000mの立山連峰まで壮大な水のストーリーをたどる。

- 出発地/県内ご指定地より出発可能(宿泊施設等)
- 受入時間/①②通年 ③④4~11月
- 学習/1時間~1日(要相談)
- 料金/全体110,000円~ ※自前の貸切バス利用の場合 ガイドのみの場合25,000円~
- 問合せ/株式会社Travearth 076-456-3770



学習ポイント
LEARNING POINTS

● 学校での事前学習

● 「富山市で学ぶSDGs修学旅行ガイドブック」を使って、また、オンラインを活用して行政職員から直接レクチャーや質疑応答を受けられます。

● 現地学習

● ワークシートやガイドブックに沿って、課題解決について学び、体験することをもとに学習を深めていくことができます。

● 旅行後の事後学習

● ガイドブックの旅アトページを活用し、自分たちが暮らす街や、世界に目を向け、課題解決法を検討し、発表します。